

資料

資料 1：令和2年度「人権に関する市民意識調査」の概要

資料 2：主な人権関係法

資料 3：主な人権条約

資料 4：用語解説

資料 5：指針改訂に関わる協力団体等一覧

1 調査概要

(1) 調査の目的

市民の人権に関する意識、行動等を明らかにし、今後の横浜市の人権に関する様々な取組をより効果的に進めていくために、人権に関する市民の意識調査（アンケート）を実施する。

(2) 調査方法

- ◇ 調査対象 横浜市在住の18歳以上の男女5,000人を、横浜市が住民基本台帳から無作為に抽出
- ◇ 調査方法 郵送による配布、郵送・インターネットによる回収及び回答
(ハガキによる礼状兼督促状を1回送付)
- ◇ 調査期間 令和2年7月31日(金)～8月21日(金)

(3) 調査項目

全40問(枝問を含めて46問)

- 人権や差別について(問1～9)
- 同和問題について(問10～16)
- 人権問題に対する課題や施策について(問17～33)
- 人権啓発活動について(問34～40)

(4) 回収結果

有効回収票数 2,301票

(有効回収率 46.0%)

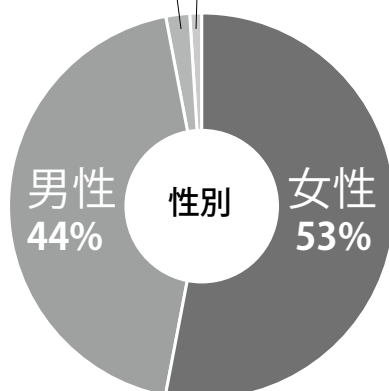
うちインターネット回答 532票
外国籍市民 11票

(5) 回答者の属性

性別

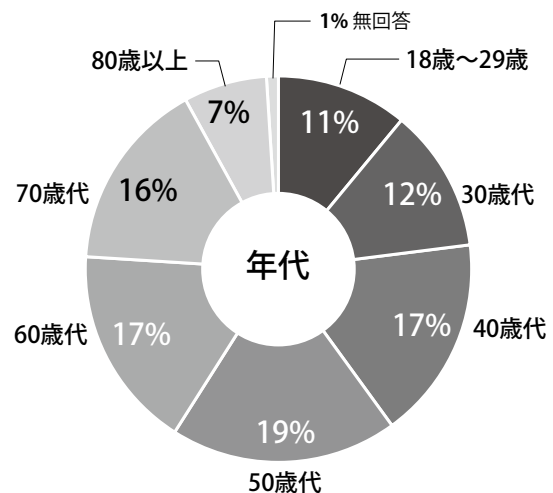
女性 1,228人
男性 1,007人
その他・答えたくない 35人

その他・答えたくない 2% 1% 無回答



年齢

18歳～29歳 238人 60歳代 386人
30歳代 284人 70歳代 366人
40歳代 397人 80歳以上 159人
50歳代 444人



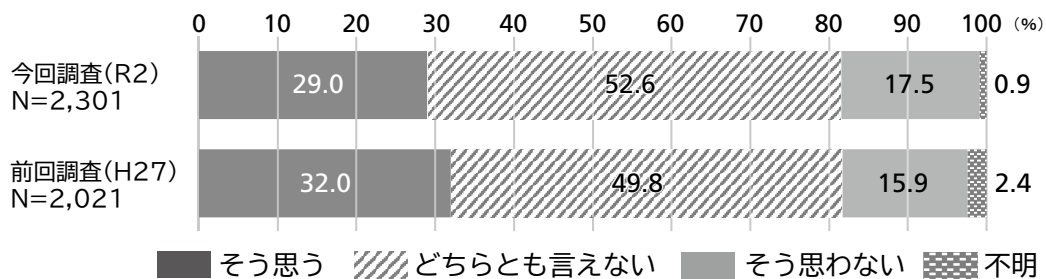
2 結果抜粋

《集計にあたって》単純回答の設問の場合、回答者割合の%値は小数点第2位を四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

今の日本は「基本的人権」が尊重されている社会か

今の日本は「基本的人権」が尊重されている社会だと思うかを尋ねたところ、「どちらとも言えない」が52.6%と最も多く、次いで「そう思う」が29.0%、「そう思わない」が17.5%と続いている。前回調査と大きな傾向の差は見られない。

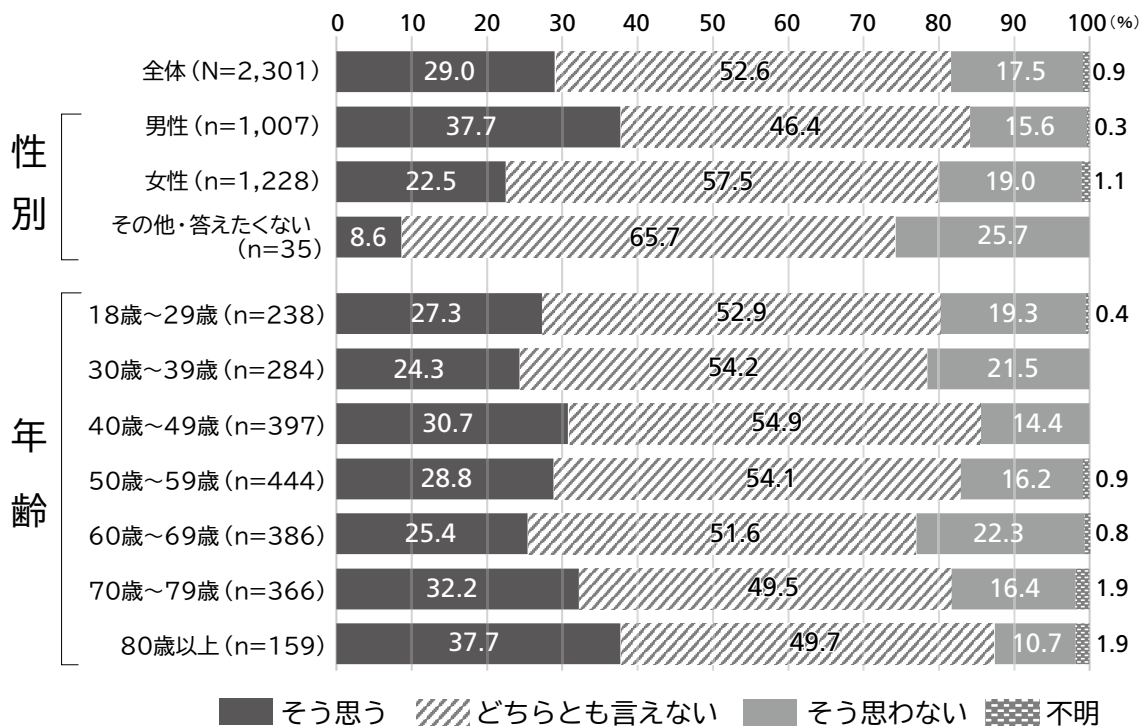
図 1-1 今の日本は「基本的人権」が尊重されている社会か



性別で見ると、「そう思う」については女性より男性がおよそ15ポイント高い一方で、「どちらとも言えない」については男性より女性がおおよそ11ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、年齢によってばらつきがある。

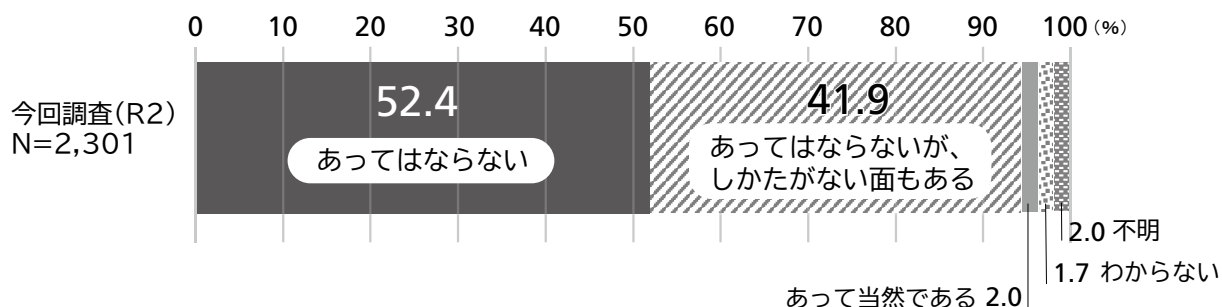
図 1-2 今の日本は「基本的人権」が尊重されている社会か (性別・年齢別)



差別についての認識

差別についての考えを尋ねたところ、「あってはならない」が52.4%と最も多く、次いで「あってはならないが、しかたがない面もある」が41.9%と続いている。「あって当然である」は2.0%となっている。

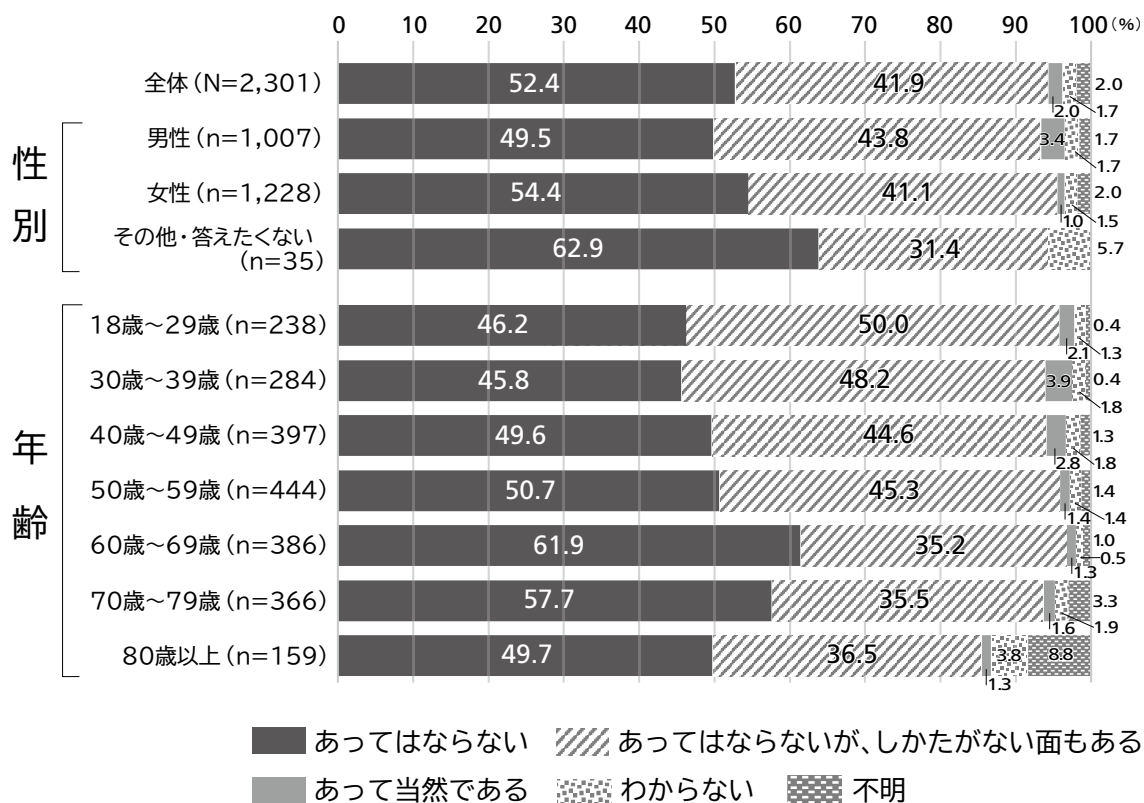
図2-1 差別についての認識



性別では、大きな傾向の差は見られない。

年齢別で見ると、おおむね年齢層が高いほど「あってはならない」が多い傾向にある。

図2-2 差別についての認識（性別・年齢別）

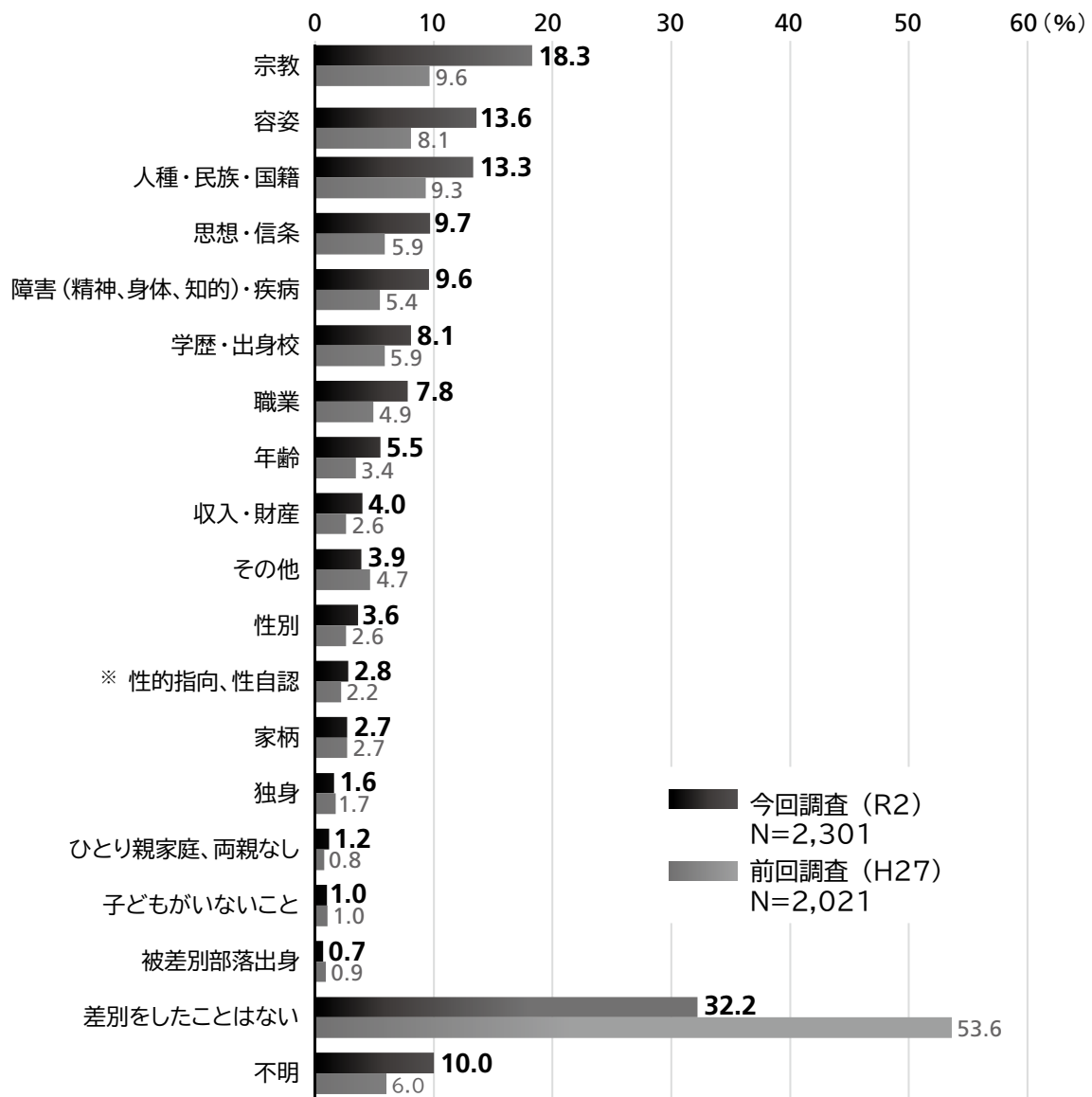


あってはならない
 あってはならないが、しかたがない面もある
 あって当然である
 わからない
 不明

差別をした経験

自分がこれまでに、他人を差別したことがあるか、ある場合、何について差別したことがあるかを尋ねたところ、「差別をしたことはない」が32.2%となっており、前回調査よりおよそ21ポイント減少している。差別したことがある場合は、「宗教」が18.3%と最も多く、次いで「容姿」が13.6%、「人種・民族・国籍」が13.3%と続いている。

図3 差別をした経験〔複数回答〕

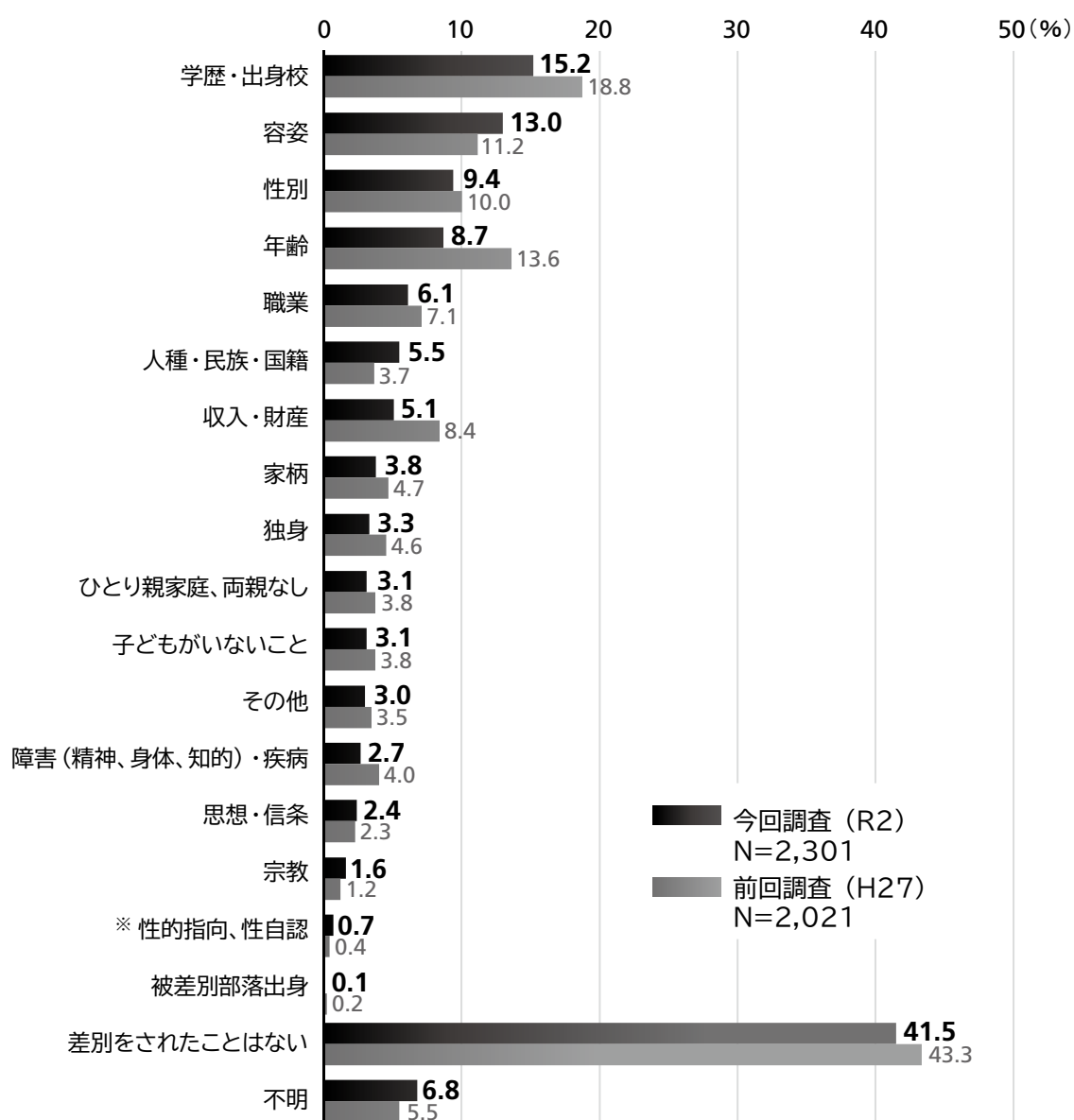


※前回調査では「いわゆるLGBT」

差別された経験

自分がこれまでに、差別をされたと思ったことがあるか、ある場合、何について差別をされたかを尋ねたところ、「差別をされたことはない」が41.5%となっている。差別されたことがある場合は、「学歴・出身校」が15.2%と最も多く、次いで「容姿」が13.0%、「性別」が9.4%と続いている。

図4 差別された経験〔複数回答〕



※前回調査では「いわゆるLGBT」

人権を尊重しあうための心がけや行動

市民一人ひとりが人権を尊重しあうために、心がけたり行動すべきこととして、どのようなことが求められると思うかを尋ねたところ、「人権に対する正しい知識を身につけること」が66.4%と最も多く、次いで今回調査で新たに設けた「自分の中にある偏見や差別を自覚し、自分は差別してしまうかもしれないことを自覚すること」が51.8%、「他人の立場や権利を尊重すること」が42.8%と続いている。

図5 市民一人ひとりが人権を尊重しあうための心がけや行動〔複数回答〕

